

市民のみなさんと考える

森づくりシンポジウム

～100年先を見据えた豊田市の森づくり～



● 12月10日(日)

13:30~16:30

● JAあいち豊田本店
ふれあいホール

※100年後を見据えた近未来における森林の姿

主催 豊田市・とよた森づくり委員会

基調講演 【市民参加による森づくりの意義と可能性】

講師 うちやま たかし
内山 節 氏

○プロフィール

1950年東京世田谷区生まれ

哲学者・立教大学大学院教授・NPO法人「森づくりフォーラム」代表理事

東京と群馬県の山村「上野村」を往復しながら暮らす

村では畑や裏山のある暮らしをしている

著書に、「自然と人間の哲学」、「森にかよう道」など多数



市民のみなさんと考える

森づくり シンポジウム

～100年先を見据えた豊田市の森づくり～



合併により広大な森林を有することになった豊田市は、この森林を保全・活用していくために「(仮称)豊田市森づくり条例」の制定及び「(仮称)豊田市100年の森づくり構想」の策定を進めています。このほど「とよた森づくり委員会」から委員会案の提言を受け、これをもとに市の素案をまとめ、12月1日からパブリックコメントの募集を行っています。

本シンポジウムは、条例・構想の素案を題材に、100年先の森の姿を見据えた豊田市の森づくりの方向性について考えていくためのものです。豊田市の森づくりの未来を、市民の皆さんと一緒に考えたいと思います。

●とき/12月10日(日) 13:30~16:30

●プログラム

【第1部】

○基調講演

「市民参加による森づくりの意義と可能性」

講師 内山 節(哲学者・立教大学教授・

NPO 法人森づくりフォーラム代表理事)

【第2部】

○豊田市の目指す森林像とは

原田 裕保(豊田市森林課長)

○「とよた森づくり委員会」の活動報告

大浦 由美(とよた森づくり委員・名古屋大学講師)

○パネルディスカッション「100年の森づくり構想の実現に向けて」

コーディネーター 蔵治 光一郎(とよた森づくり委員、東京大学愛知演習林講師)

パネラー とよた森づくり委員、豊田市森林課長ほか



※「とよた森づくり委員会」は、条例・長期計画の素案を検討する組織として平成17年8月に発足し、学識経験者、林業関係者、公募市民など13名で構成されています。

<会場>

JAあいち豊田本店 ふれあいホール

豊田市西町4丁目5番地

定員 200名(事前予約不要)

※駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

<問い合わせ>

豊田市森林課 電話 0565-62-0602

E-mail : shinrin@city.toyota.aichi.jp

